

事業区分
その他サービス

平成27年度 事務事業評価シート

事務事業名	障害者社会参加援助				所管	福祉部 障害福祉課	
事務事業の概要	事業の開始・終了年度		[事業開始] 平成 2 7 年度	[終了予定]	- 年度		
	根拠法令等	条例・規則	[法令等名]	東京都台東区松が谷福祉会館条例			
	事業対象	18歳以上65歳未満で維持期の訓練の必要な中途身体障害者・障害者や家族及び障害者の支援を行うボランティア団体等					
	事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・医療終了後(維持期)の身体障害者に対し、理学・作業・言語療法等の訓練により機能の維持、改善、生活指導を図り、日常生活の自立、社会参加を目的とした指導・助言を行う ・障害者の社会参加プログラムの実施とその支援のためのボランティアの育成を行う。 					
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動支援センター事業として脳卒中等中途障害者の機能回復訓練の実施。それぞれの機能に合わせ専門療法士により週1～2回訓練、社会参加や社会資源の活用を目的とした外出訓練の実施。 ・社会参加プログラムの実施(講習会・パソコン教室・外出訓練・自主サークルの設置及び運営支援等) ・事業に関連するボランティアの育成(新規育成及び既存ボランティアのレベルアップ講座等の実施) 					
	委託の有無	一部委託	委託内容	非常勤職員検診・障害者パソコン教室(肢体・視覚)、要約筆記			
補助金の有無	国・都						
事務事業の実績	種別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	24年度	25年度	26年度
	活動指標	機能回復訓練在籍者数	人	16	15	15	16
		社会参加プログラム実施回数	回	382	192	187	382
	成果指標	機能回復訓練 延利用者数	人	1,894	1,847	1,853	1,983
		社会参加プログラム参加延べ人数	人	2,175	1,726	1,696	2,175
	決算額	(単位：千円)			15,828	15,681	16,475
	事務事業コスト	人にかかるコスト(人件費など)			24,528	24,571	26,996
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			464	484	531
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			0	0	0
		総経費			24,992	25,055	27,527
財源項目	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			8,601	8,689	8,937	
	一般財源(区負担額)			16,391	16,366	18,590	
前回評価から改善した事項	リハビリ室の床を張り替え、安全面・衛生面・利便性等の向上につながった。また、障害者自立支援センターの事業内容を整理し、「相談に特化した部分」と「社会参加に視点を置いた事業」とに分けた。						
評価の視点	評価	評価の理由					
	必要性	3	若年の脳卒中等中途障害者は介護保険デイになじめない場合が多い。公共交通機関の利用、社会資源の活用、外出等、地域生活に密着し社会参加を目的としたリハビリの提供が必要である。				
	効率性	3	専門性が不可欠な事業の為に予算のほとんどが人件費である。外出・講習会等社会参加援助の充実には人手が必要であるが、自立支援センターで育成しているボランティアを活用することでコストを抑えつつ安定したサービス提供に繋がっている。				
	手段の適切性	3	医療・介護保険との役割分担を明確にした上で、社会参加(地域生活への復帰)を目的とした機能訓練を提供出来ている。また、自主サークル運営支援などで仲間づくりの仲立ちにもなり障害者の孤立防止にも繋がっている。				
	目的達成度	4	個々に合わせた訓練メニューを専門療法士が立案している。リハビリ期間終了後も自主リハビリサークル(月1回)に参加し継続して社会参加の出来る仕組みを作っている。				
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)				評価結果	今後の方向性		
若年層の脳卒中等、中途障害者の社会参加を目的とした機能訓練は他になく、利用者が豊かな生活を継続できるよう事業展開をしていく必要がある。また、障害のある者が孤立せずに集える場の提供やそれを支える仕組みづくりにはボランティアの活用が必須である。					維持	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	